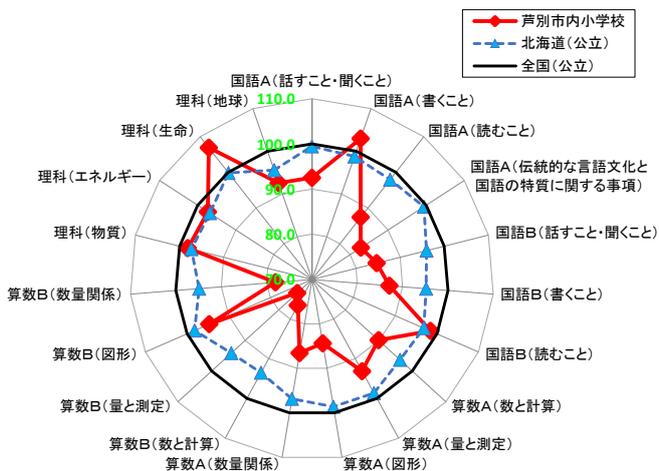


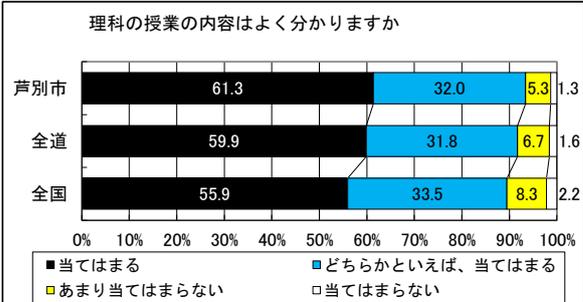
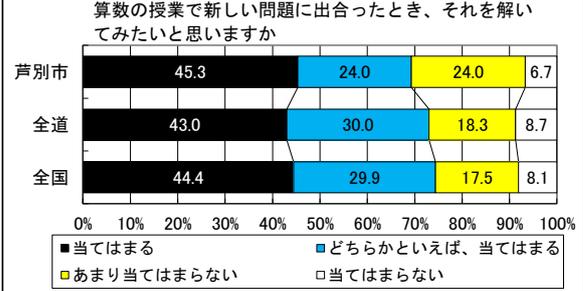
■ 芦別市内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 2校、児童数: 75人)

【教科全体の状況】

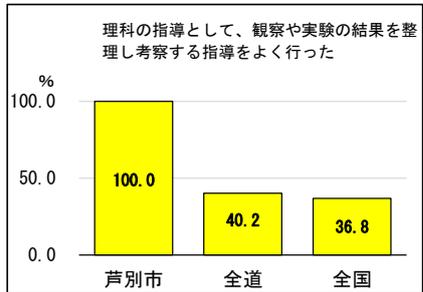
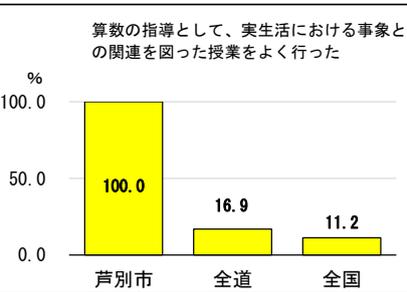
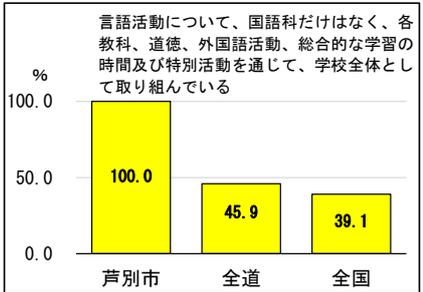
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Bでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生命」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、各教科、領域等を通じて、学校全体として取り組んだ結果、国語Aの「書くこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った結果、算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答している。 ○ 全ての学校が、「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「理科の指導として、観察や実験の結果を整理し考察する指導をよく行った」と回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の指導として、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行った結果、理科の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が増え、理科の「生命」で全国を上回ったと考えられる。

【芦別市の学力向上策】

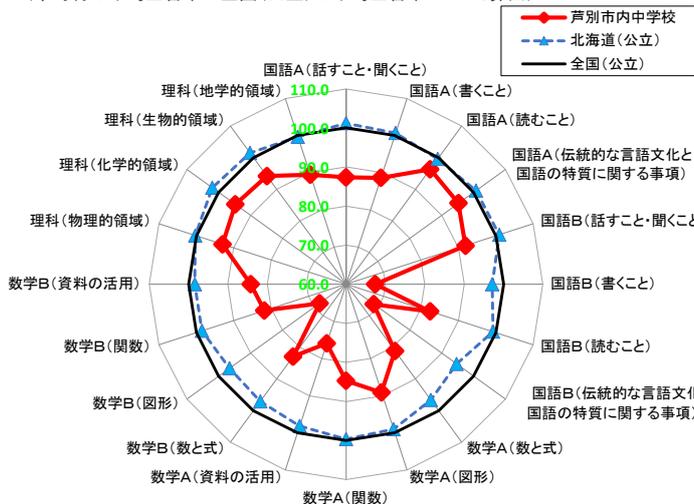
- ◎ 授業の受け方等の学習規律の定着の取組の徹底
- ◎ 家庭と連携した家庭学習の習慣化の取組の推進
- ◎ 漢字検定、算数検定の検定助成事業の継続
- ◎ 学習サポート教員・学習支援員による個に応じた指導の充実
- ◎ ICT機器を活用した指導方法やアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善の推進
- ◎ 長期休業中における補充的学習会の実施
- ◎ 小中一貫教育協議会を核とした小中一貫教育の推進
- ◎ 「教育だより」による教育活動の積極的な情報発信と共有化
- ◎ 家庭の教育力向上を目指した親子参加型の体験教室等の開催

■ 芦別市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:71人)

【教科全体の状況】

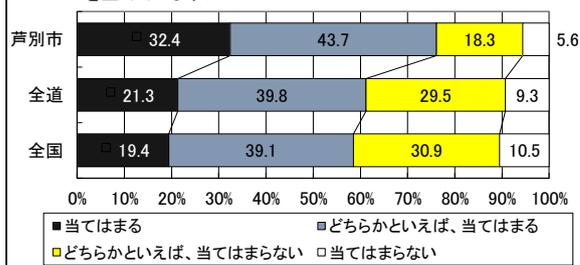
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



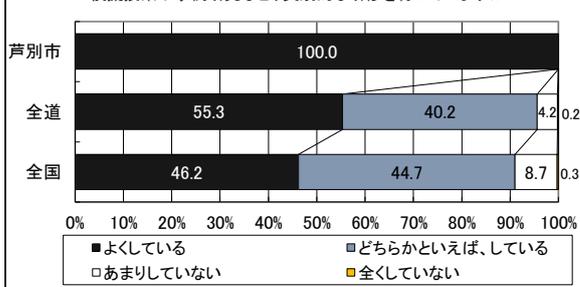
【生徒質問紙調査】

理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか



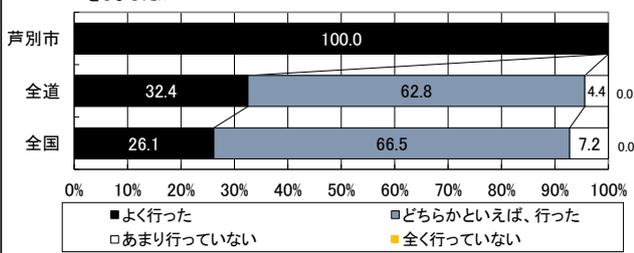
【学校質問紙調査】

模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

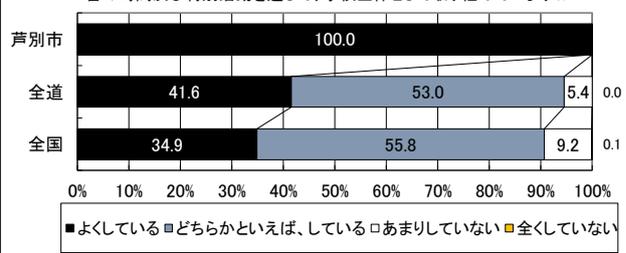


【学校質問紙調査】

習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「化学的領域」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行った結果、日常の授業改善が図られ、国語Aの「読むこと」、数学Aの「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行ったり、言語活動について、各教科、領域等を通じて、学校全体で取り組んだりした結果、理科の授業で自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答している。 ○ 全ての学校が、「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答している。 	

【芦別市の学力向上策】

- ◎ 授業の受け方等の学習規律の定着の取組の徹底
- ◎ 家庭と連携した家庭学習の習慣化の取組の推進
- ◎ 漢字検定、数学検定、英語検定の検定助成事業の継続
- ◎ 学習サポート教員・学習支援員による個に応じた指導の充実
- ◎ 長期休業中における補足的学習会の実施
- ◎ ICT機器を活用した指導方法やアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善の推進
- ◎ 小中一貫教育協議会を核とした小中一貫教育の推進
- ◎ 「教育だより」による教育活動の積極的な情報発信と共有化